

三たびの海峡 (1995)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 123分
初公開日 1995/11/11
公開情報 松竹

【解説】

帚木蓬生が吉川英治文学新人賞を受賞した同名小説をもとに、「君といつまでも」の加藤正人が脚色、「ひめゆりの塔」の神山征二郎が脚色・監督したドラマ。日本に強制連行された朝鮮人男性の半生を描く。音楽は佐藤勝が担当。日本映画で初めて本格的な韓国ロケを敢行した。

太平洋戦争末期、河時根は対馬海峡を渡って北九州の炭鉱に連行され、食事も休憩も与えられず働かされた。労務監督の山本三次は、脱走する者や自分に意見する者は容赦なく叩きのめした。労働条件の改善を願い出た金東仁は自殺に追い込まれ、時根は炭鉱からの逃走を図り成功。飯場で働き始めた時根は未亡人の千鶴と恋に落ちる。そして日本は敗戦。時根は身ごもった千鶴を連れて海峡を渡り、韓国に戻るのだが…。

【クレジット】

監督 神山征二郎
プロデューサー 石野憲助
岡田裕
原作 帚木蓬生 「三たびの海峡」
脚色 加藤正人
神山征二郎
撮影 飯村雅彦
美術 山崎輝
編集 鈴木暁
音楽 佐藤勝
助監督 山本伊知郎
出演 三国連太郎
南野陽子
風間杜夫
隆大介
永島敏行
岩城滉一
李鐘浩
林隆三
白竜
伊佐山ひろ子
趙方豪
樹木希林

泉ピン子